

「特定非営利活動法人 Design Net-works Association」 × 「群馬県立吉井高等学校」の協働

【協働事例の概要】 高校生による職業人インタビュー

- ・群馬県立吉井高等学校（以下、「吉井高校」という。）の「産業社会と人間」および「総合的な探究の時間」を特定非営利活動法人 Design Net-works Association（以下、「DNA」という）がコーディネート
- ・DNAスタッフと吉井高校の教員とで「産業社会と人間」および「総合的な探究の時間」を利用し、吉井高校の生徒による職業人インタビュー体験を企画・運営
- ・生徒がインタビューするにあたり、事前にインタビューの相手の選び方、内容、インタビュー内容まとめ方等についてガイダンス授業を実施。人の話を聞くトレーニングに関するワークも行う。
- ・生徒は夏休みを利用して、実際に話を聞きたい職業人を選び、インタビューを実施
- ・夏休み後、生徒はインタビューの内容を壁新聞にまとめ、発表する。



熱心に授業を聞く生徒たち

特定非営利活動法人
Design Net-works
Association
(略称 DNA)

群馬の10代に、
しなやかな学びを。

NPO DNA
Design Net-works Association

HP <http://npo-dna.org/index.html>

代表 沼田 翔二郎

住所 高崎市鞆町10 立駐高崎ビル3階高崎中部
名店街事務所内

主たる活動 学校教育と連携した教育プログラムの
企画・開発・運営・支援



DNAスタッフによるガイダンス

群馬県立吉井高等学校



HP http://www.nc.yoshihs.gsn.ed.jp/?page_id=144

校長 小松 祐一

住所 高崎市吉井町馬庭1478-1

教育目標 知・徳・体のバランスがとれ、何事にも
挑戦するたくましさを持ち、社会に貢
献できる人間を育成する。

■協働における役割：DNAスタッフと吉井高校教員で相談しながら、職業人インタビューの企画立案・授業の運営

<DNA> ・効果的なインタビューを行うため、生徒に対し、ガイダンス授業や、話の聞き方ワークを行う。

- ・生徒がインタビューの内容をとりまとめて、壁新聞で発表するため、まとめの方法、効果的な新聞の作り方（タイトル、写真、エピソード等）について支援・伴走

<吉井高校> ・DNAスタッフが実施する授業に基づき、教員が生徒からの質問に応じたり、生徒の指導を行う。

■協働における相乗効果：

- ・DNAのスタッフと吉井高校の教員とが一緒に指導することで、生徒が新鮮な気持ちで授業を受けることができ、素直に行動できる。
- ・民間（DNA）の取り組みを導入することで、これまでの学校の取り組みとは異なる授業ができる。

■インタビュー後の生徒の感想 

- 物を売る仕事に興味があってインタビューをした。物を売るということにそこまで大変さを感じていなかったが、相手のことを考えたり、丁寧に表現しないといけないため、「そんなに甘くないな」と思った。
- インタビューの中で、1つのことについていろんなことを質問することで、自分の語彙力が増えた気がする。